

● 令和5年（2023年）の世界の主な火山活動

令和5年（2023年）に顕著な被害を伴った噴火が報告された主な火山（日本を除く）*は以下のとおり。

ウラウン（Ulawun） パプアニューギニア 標高 2334m

11月20日から21日にかけて大規模な噴火が発生し、火山灰は成層圏に達し高度18.2kmまで上昇した。火砕流が北側及び南東側に流れた。この噴火により、5人が死亡、16,000人以上が避難した。降灰により、農作物、水源等が被害を受けた。

マラピ（Marapi） インドネシア 標高 2885m

12月3日に爆発的な噴火が発生し、噴煙の高さは約15,000mに達した。火口から13kmの範囲で降灰があった。その時点の登山者75名のうち23名が死亡し、生存者もほとんどが火傷を負った。

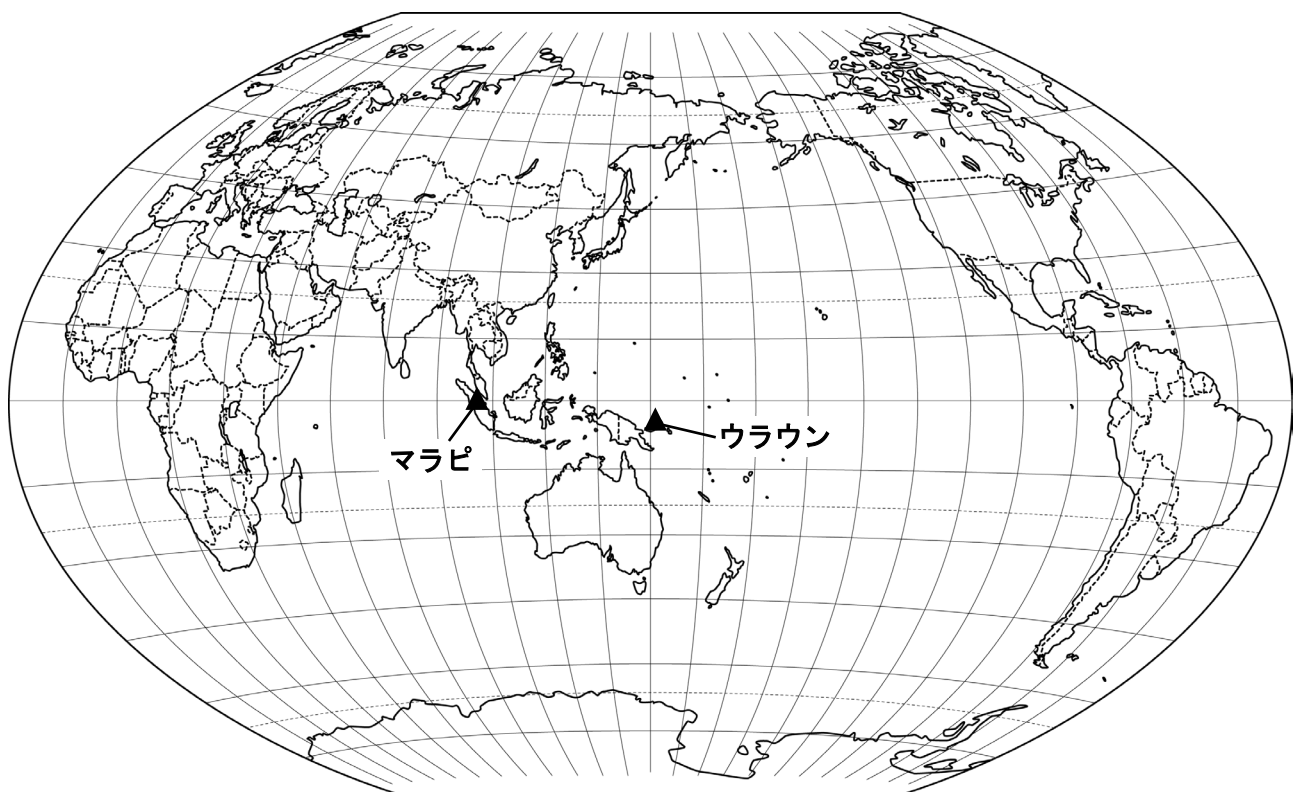


図 令和5年（2023年）に顕著な被害を伴った噴火が発生した主な火山（日本を除く）*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ“Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” (http://www.volcano.si.edu/reports_weekly.cfm)、ダーウィン航空路火山灰情報センター“Darwin Volcanic Ash Advisory Centre”による。日付は全て現地時間。